

平成 22 年 5 月 11 日

分野教授（代表） 殿

組織的な大学院教育改革推進プログラム

「臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践」 代表者

組織的な大学院教育改革推進プログラム「臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践」  
平成 22 年度サマーフェローシップの募集について

下記の要領で標記事業を公募いたしますので対象者は奮ってご応募下さい。

1. 目的：大学院生を海外の医療・教育・研究施設にサマー・フェローシップとして派遣し、国外の研究グループとの共同研究や生活習慣病フィールドワーク等に積極的に参加させ、国際レベルの研究遂行能力を涵養するとともに、海外留学を早期に体験させることで、大学院修了後の国際的なキャリアパスの形成を支援します。
2. 申請資格：大学院医学教育部博士課程に在籍する大学院生。
3. 派遣対象とする海外研究施設等：代謝・循環情報医学もしくは発生・再生医学に関連する医療・研究等を行っている国外の医療・教育・研究施設等への派遣を対象とします。
4. 派遣期間：サマーフェローシップの派遣期間は概ね1ヶ月以内とします。ただし、平成 22 年度中に帰国し、平成 22 年度中に予算の執行が可能なものとします。また、本事業と直接関係のない用務が旅程に含まれる場合には全旅程について事業対象としない場合があります。
5. 申請件数の制限：1 申請者が一度に申請できる件数は1件とします。
6. 採択件数：審査の上で採否を決定します。2件の採択を予定していますが、予算枠に応じて変更される場合があります。過去に本事業で採択された方も申請できますが、審査に際しては採択歴も考慮されます。
7. 旅費の支給：交通費と宿泊費（割引運賃等を利用した経済的手段によるもので規定の範囲内）を、規定の旅行申請手続に準じて支給します。ただし、滞在日数に応じて以下の金額（交通費と宿泊費の合計）を目安とする上限を設けます。4週間＝40万円、3週間＝35万円、2週間＝30万円
8. 報告書：派遣事業により得られた成果に関する報告書を提出する義務があります。報告書のうち公開できる部分については本教育プログラムのホームページに掲載します。また、本教育プログラムが開催する合同プログレスレポートへの参加を依頼します。
9. 申請方法：所定の様式（様式 S1）を用い、派遣先施設において実施予定の活動・共同

研究等に関する書簡やE-mail等（未発表研究等で開示できない部分については塗りつぶし可）を添えて申請して下さい。正本1部と写し1部（添付書類を含む）を提出して下さい。

10. 申請書類提出先：本プログラム事務担当（発生医学研究所7階、組織幹細胞分野内）に直接提出して下さい。学内便およびE-mailでの提出は不可とします。
11. 締め切り：平成22年6月7日（月） 17時（必着）
12. 審査結果の通知：審査結果は平成22年6月18日（金）までに申請者連絡先に通知します。採択された申請者に対して旅行申請手続等について別途通知します。
13. その他：上記の内容は補助金取扱要領や学内規則等により変更される場合があります。
14. 本事業に関する問い合わせ先：組織的な大学院教育改革推進プログラム事務担当（発生医学研究所・組織幹細胞分野内 内線：6808）

(様式 S1)

組織的な大学院教育改革推進プログラム「臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践」

平成 22 年度 サマーフェローシップ 申請書

申請日	平成 年 月 日	*受付番号 (事務担当記入欄)
申請者氏名 (ふりがな)、 印または署名	印または署名してください	
申請者所属分野・学年		
e-mail アドレスと昼間 連絡のつく電話番号		
研究指導責任者の所属、 氏名、印または署名	印または署名してください	
右に該当する場合は チェックして下さい	<input type="checkbox"/> 代謝・循環情報医学エキスパート育成コースの履修生 <input type="checkbox"/> 発生・再生医学研究者育成コースの履修生	
派遣予定期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	
派遣先施設等の名称 および所在地		
派遣先施設等で実施する 予定の活動・共同研究 等の内容 (特に代謝・循環情報医学 もしくは発生・再生医学 における意義等に焦点 をあて、詳しく記載して 下さい)		

申請者氏名	
交通費等見込額と内訳	
サマーフェローシップ 派遣を希望する理由	
申請者が現在行っている研究の内容について	
発表論文、学会発表等、 研究業績の参考となる 事項があれば記入して 下さい	

※本申請書は A4 用紙に両面印刷したものを提出して下さい。